

近代・現代

陶磁の技巧絶美



〈日本陶器〉オーロラ フィギュアリン
昭和51年以降

【開館時間】午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

【休館日】毎週月曜日（祝・休日の場合開館、翌平日休館）

【入館料】一般1000円（800円）、高・大学生シニア65歳以上800円（600円）、
中学生600円（400円）、小学生以下無料

*障がい者手帳をお持ちの方700円 *（）内は20名以上の団体料金

【後援】愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会、名古屋市立小中学校PTA協議会

2025年

1月10日 金 ▼ 4月13日 日



〈日本陶器〉上絵薔薇図花瓶
市ノ木慶治画 昭和10～15年頃



〈日本陶器〉白熊の親子 フィギュアリン
昭和51年以降



〈日本陶器〉上絵果物図飾皿
市ノ木慶治画 明治45～昭和15年頃



公益財団法人
横山美術館

〒461-0004 名古屋市東区葵 1-1-21 TEL.052-931-0006 FAX.052-931-0008
<http://www.yokoyama-art-museum.or.jp>

近代・現代 陶磁の技巧絶美



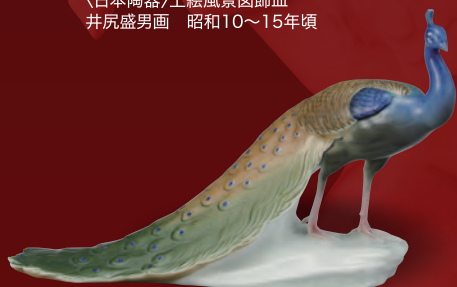
〈日本陶器〉上絵風景図花瓶
田中義男画 昭和10~15年頃



〈名古屋製陶所〉上絵薔薇図花瓶
明治44~昭和21年



〈日本陶器〉上絵風景図飾皿
井尻盛男画 昭和10~15年頃



〈香蘭社〉孔雀置物 昭和10年頃

明治から昭和にかけ、名古屋市東区付近は多くの絵付け工場や貿易業者が軒を連ねる日本最大の集積地として輸出陶磁器産業繁栄の起点となりました。また、明治42年には日本陶器合名会社内に「技芸科」が設置され、絵画科・彫刻科を備えた履修体制(3~4ヵ年)はある種、社内美術学校の先駆けとなっていきます。当初は「(食器づくりの為の)従業員の技芸の進歩」という指導方針は、次第に「絵画・彫刻に関する技術と教養の育成」へとその範囲は広がり、技芸科生による作品展や図案展が毎年開催されるようになりました。そうした環境の中から、市ノ木慶治のような中部画壇でも活躍する職工も現れます。

本展では、明治から昭和、そして現在も製陶会社で連綿と引き継がれる絵画・彫刻技術の精華(見本や製品)を一堂にご覧いただけます。

関連イベント

講演会「上絵付技法からみる市ノ木慶治作品の魅力について
— 卓越した技から生み出される表現の美に迫る —」

〈市ノ木の上絵の素晴らしさ〉(技法について(模写を踏まえて))を中心に、
新たな考察なども含めお話しいただきます。
◎日時:2025年3月23日(日)13:30~15:00 ◎定員:20名(要事前申込)
◎講師:杉山ひとみ氏(一級陶磁器上絵付け技能士)
◎参加費:無料(要入館料)



杉山ひとみ氏



市ノ木慶治画

ギャラリートーク

当館学芸員による作品解説

1月18日(土)、2月1日(土)、2月15日(土)
3月1日(土)、3月15日(土)、4月5日(土)

◎場所:美術館展示室(4階企画展+1~3階の常設展)
◎時間:13:30より1時間程度
*事前申込不要、要入館料



年間パスポート会員募集中!
年会費4,000円(更新3,000円)

*各イベントの詳細につきましてはお問い合わせください。

公益財団法人
横山美術館
Yokoyama Art Museum

〒461-0004 名古屋市東区葵 1-1-21
TEL.052-931-0006 FAX.052-931-0008
<http://www.yokoyama-art-museum.or.jp>

【交通のご案内】

名古屋市営地下鉄東山線
「新栄町」駅(1番出口)徒歩4分
名古屋市営地下鉄桜通線
「高岳」駅(3番出口)徒歩4分
*専用の駐車場はございません。お車でのご来場の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。



次回企画展

至福のひとつき
カップ&ソーサー展

2025年4月29日(火)~
8月31日(日)

※予約可
100円割引
有効期限:2025年4月13日
他館予約不可